

FOODEX JAPAN 2015への 出展計画について

雑穀輸入協議会

来年3月に開催されるFOODEX JAPAN 2015に雑穀輸入協議会として「世界の豆」をテーマに出展参加することとしましたので、その計画の概要を説明いたします。

1 出展計画の概要

2016年の「国際豆年」に向けての雑穀輸入協議会の行動計画の第一弾として、食品産業業界の最大のイベントの一つであり、世界の食品・飲料の生産流通加工関係者が一堂に会するFOODEX JAPAN 2015に出展参加する。

(1) 出展テーマ：世界の豆

(2) 出展の訴求ポイント

今回のFOODEX JAPANへの出展の訴求ポイントは、我が国で入手可能な豆類の消費啓発の促進を目標に、以下のとおりとする。

○2016年「国際豆年」の認知度アップ

○世界の多様な豆類の紹介

○豆の栄養と機能性のアピール

○世界の主要な豆料理の紹介

(3) キャッチコピー

キャッチコピーは、「豆は、あなたの元気と健康の源！」（‘Pulses make you stronger and healthier’）とする。

シシルズ（CICILS：豆類の国際的な団体）の2014年度コンベンションにおいて、我が国代表から日本の「国際豆年」に向けての活動スローガンを‘Pulses make you stronger and healthier’と発表し、各国の賛同を得た経緯がある。

ちなみに米国の豆類団体（USDBC）では“Beans for Health”、カナダの豆類団体（Pulse Canada）では“Healthy people! Healthy planet!”をそれぞれ採用している。

(4) 出展内容

以下のコーナーにおいて、豆に関する各種の展示、資料配付、試食等を行う。

○2016年「国際豆年」コーナー

2016年の「国際豆年」を積極的にアピールするため、提唱団体であるシシルズのPRパンフ、ロゴ入りのステッカー、グッズ、サンプル袋などを配付する。

○世界の多様な豆類コーナー

世界各地で生産、流通、利用されているさまざまな色や形、大きさの食用豆類について豆の標本や写真の展示により、紹介する。

○豆の栄養・機能性コーナー

豆のもつ優れた栄養・機能性について解説したパネルや主な豆加工品サンプルの展示を行うとともに、これらをまとめた冊子やパンフを配付する。

○世界の主要な豆料理コーナー

世界各地には、その地で生産された豆を用いて、煮込む、揚げる、炒めるなどさまざまな調理法の豆料理があるが、これらを写真やパネルで紹介するとともに、世界の豆料理を解説した冊子を配付する。さらに、ブラジル、イタリア、スペイン等の代表的な豆料理の試食も行う。

2 今後の進め方

出展の具体的な内容については、近々当協議会の国際豆年推進委員会で意見交換を行った後、年内に成案に漕ぎ着けたいと考えている。

<参考> FOODEX JAPANの概要

1976年から毎年開催しているアジア最大級の食品・飲料専門の展示会であり、2015年で40回目を迎える。開催規模は、食品の国際取引の活発化に伴い、年々拡大している。

正式名称：FOODEX JAPAN 2015（第40回 国際食品・飲料展）

開催期間：2015年3月3日（火）～6日（金）の4日間

開催場所：幕張メッセ 千葉市美浜区中瀬2-1

予定来場者数：75,000名（2014年実績：75,766名）

出展者数：2,500団体（2014年実績：2,808団体（国内1,046、海外1,762））

出展参加国：75ヵ国・地域

主催：一般社団法人日本能率協会ほか5団体

後援：外務省、厚生労働省、農林水産省、観光庁ほか